

2025年10月15日
株式会社SVPジャパン

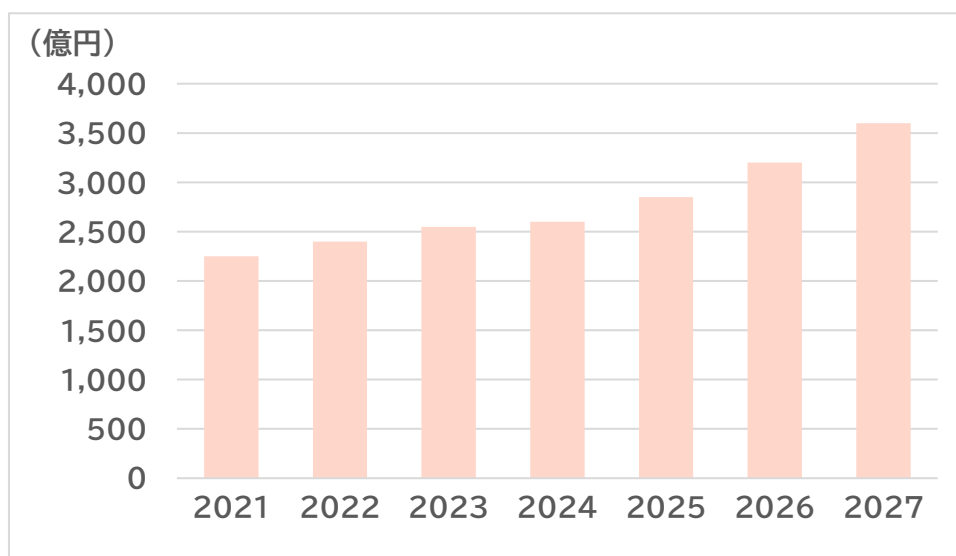
SVP注目市場分析 「3Dプリンター材料」を公開

～多様化する材料開発と需要拡大の行方～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「3Dプリンター材料-世界市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■ 3Dプリンター材料の世界市場



3Dプリンター材料市場は、熱可塑性樹脂や光硬化性樹脂、金属、セラミックスなど多様な素材が製品化され、各造形方式に応じフィラメント、液体樹脂、粉末状の樹脂や金属材料で提供されている。用途は航空・宇宙や自動車での軽量化部品、医療分野でのインプラントや臓器モデルまで広がり、家庭用プリンター向けの需要も存在する。2024年の市場規模は約2,600億円で前年比2%増と推定されるが、3Dプリンター本体市場の減速により成長率は鈍化した。樹脂が5割超、金属が4割程度を占め、欧米と中国が主要市場で、日本は規模が依然小さい。今後は3Dプリンター本体需要の回復や新素材の普及を背景に、2027年には大幅な拡大が見込まれ、堅調な成長が続くと予測される。さらに、多品種少量生産の進展や産業のデジタル化の流れも追い風となり、需要は裾野を広げつつ拡大すると考えられる。

■ 3Dプリンター材料の市場概況

3Dプリンターの主要メーカーは自社プリンターに最適化した純正材料を展開しており、米国のStratasysや3D Systems、ドイツのEOSが市場シェア上位を占めている。StratasysはFDM方式で、3D SystemsはSLAやSLS方式で、EOSは金属材料で強みを発揮している。一方、フランスのArkemaなどの化学メーカーや樹脂・金属メーカーも積極的に参入し、サードパーティー製材料のシェアが拡大している。さらに、炭素繊維やガラス繊維強化材、生体適合材料などの開発も進み、用途拡大が市場成長を後押ししている。今後は既存の製造業に加え、建築やホビーなど幅広い分野で利用が進むと予想され、競争環境は一層多極化する見通しである。加えて、日本でも旭化成、大塚化学など大手メーカーの参入や事業拡大が進み、国内市場の存在感を高める動きがみられる。



■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



■ 次回のテーマ

11月のテーマは「AI関連システム構築・活用支援サービス」と「スマートフォン」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com